

地球環境変遷史		講義	非常勤講師 新井 健司
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200119

1. 授業のねらい・概要

地球は、今から約 46 億年前に太陽系の惑星の 1 つとして誕生し、今日までさまざまな出来事と絶え間ない変化が続いてきた。中でも生命の進化は、多くの謎に包まれた興味深い現象である。

この授業では、原始生命体の誕生に始まり、人類の出現に至る生物進化を中心に、これまでに解明された地球の歴史の道筋を辿る。太古の世界を想像し、推理しながら楽しく学んでもらいたい。

2. 授業の進め方

教室で、板書・画像映写を併用した口頭説明による対面式授業を行う。

3. 授業計画

1. 地質時代、生物の進化	9. 超大陸パンゲア、巨大火山活動と大量絶滅
2. 年代測定法、原始地球と生命の誕生	10. 単弓類から恐竜に至る陸上動物の‘主役’交代
3. 光合成生物の出現と酸素の増加	11. 恐竜・海生爬虫類・翼竜の繁栄 と哺乳類の出現
4. 全球凍結と多細胞生物の発展	12. パンゲアの分裂、巨大隕石の衝突と大量絶滅
5. ‘カンブリア紀の大爆発’とバージェス動物群	13. 哺乳類と鳥類の発展
6. 無脊椎動物の進化と植物・節足動物の上陸	14. 氷河時代と氷河性海面変動、氷河時代の動物
7. 魚類の進化と上陸	15. ヒトの進化と地球環境
8. シダ植物の森林、両生類から爬虫類へ	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次回のテーマについて、書籍・科学雑誌などで予備知識を持っておくと理解しやすい（約 1 時間）。高校までに学習した生物の基本的な分類を再確認しておいてもらいたい。授業後はノートを見直して、復習をしておくこと（約 1 時間）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

第 5 回と第 10 回の授業時に小テストを実施し、講評を付けた答案を返却する。理解度の確認と学修方法の見直しに役立ててもらおう。

6. 授業における学修の到達目標

地球史上の主要な出来事や各時代を代表する古生物が年代順に把握され、合わせて生物と地球の間の相互作用とその影響がどのようなものかについて、正しく理解されることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

試験（70%）、受講態度（30%）をもとに、成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

テキストは指定しないが、地名の確認のため、地図帳（日本・世界、何れの出版社のものも可）を用意するとよい。

9. 受講上の留意事項

授業には毎回出席し、やむを得ず欠席する時は、必ずメールで連絡すること。成績上、欠席理由に配慮する場合もあるが、病欠も含めた総欠席数が多い場合は、単位認定を行わない。なお、試験には十分に準備をして臨んでもらいたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無
該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。